

## 太陽光発電の実践的保守点検研修およびデモンストレーションに関する説明会

国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下、産総研）再生可能エネルギー研究センター太陽光システムチームでは、福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金事業「太陽光発電のO&M等の技術開発・人材育成拠点の形成」の一環として、福島再生可能エネルギー研究所（以下、FREA）に設置されている太陽光発電設備を活用し、オペレーション&メンテナンスの技術開発および人材育成を行っております。

本事業において、今年度より開始する太陽光発電設備の実践的保守点検研修およびデモンストレーションに関する説明会とそれに関連した特別講演を以下の要領で開催しますので、ふるってご参加ください。

○開催日時：2021年11月8日 13:30～16:40

○開催方式：オンライン（MS Teams）

○参加：無料

○参加資格：特になし。福島県内に事業所を有する企業に所属していることが望ましい。

研修・デモンストレーションへの参加は説明会への参加は必須ではありません。

○プログラム（案）

### ①事業説明

- ・ 13:30～14:10 事業概要および実践的保守点検研修およびデモンストレーションに関する説明  
産総研 再生可能エネルギー研究センター 太陽光システムチーム 大関 崇

### ②特別講演

- ・ 14:10～15:10 太陽光発電の保守点検の重要性と社会的意義  
公益社団法人東京電気管理技術者協会 千葉支部長 鉤 裕之
- ・ 15:10～15:20 休憩
- ・ 15:20～15:50 東北エリアにおけるO&M事業の展開について  
株式会社CO2O 森本晃弘
- ・ 15:50～16:20 太陽光発電のO&M事業化の過去・未来  
株式会社エネテク 野口貴司
- ・ 16:20～16:35 福島県事業化ワーキンググループの概要（仮）  
エネルギー・エージェンシーふくしま 柿崎 隆夫
- ・ 16:35～16:40 閉会

○参加方法

下記のWEBフォームより申し込みください。後日WEBリンクをお送りします。

- ・ 説明会への参加登録フォーム：<https://forms.office.com/r/FXZZg1bKVX>
- ・ 申し込み締め切り：2021年11月2日（火） 17:00
- ・ WEBフォームがご利用できない場合は、必要な情報を記載のしていただきメールでご連絡ください。
  - E-mail：[M-FREA-pvsysat-om-ml@aist.go.jp](mailto:M-FREA-pvsysat-om-ml@aist.go.jp)
  - 件名：太陽光発電の実践的保守点検研修に関する説明会 参加
  - 氏名、ご所属、電話番号、E-mailアドレス

その他お問い合わせ先：[M-FREA-pvsysat-om-ml@aist.go.jp](mailto:M-FREA-pvsysat-om-ml@aist.go.jp)

## 特別講演 講演者紹介

東京電気管理技術者協会 千葉支部長 鉤 裕之



2007年より千葉県にある太陽光発電所2か所の保安全管理業務を担当し、現在6か所に上る。2015年、東京電気管理技術者協会に所属する有志とともに太陽光発電支援チーム「ソーラーSAT」を発足。電気保安に関する技術向上を図り、全国各地の現場で培った安全確保のためさまざまな知見やノウハウを蓄え、協会会報誌等への太陽光発電設備に関する原稿執筆を多数行っている。また、職業能力開発促進（ポリテク）センター千葉や日本電気協会関東支部では講師を務め、人材育成にも携わっている。

株式会社CO2O 事業本部長 森本 晃弘



1989年より電力土木・建築の監理に従事。2001年には電力会社における社内ベンチャー制度を活用した新規事業会社設立の主務責任者として参画。不動産プロパティマネジメント業務を経験した後に、2012年には世界最大手モジュールメーカーのアフターサポート体制構築を行い、同組織を母体に株式会社CO2Oを設立。発電所の評価診断、O&M事業等を推進し東北エリアにおける多数のO&M実績を有している。「太陽光発電事業の評価ガイド（JPEA）」土木構造WG主査、「太陽光発電アセットマネジメントガイドライン（JAAM）」グループ主査、「小規模太陽光発電アセットマネジメントガイドライン（JAAM）」委員長、太陽光発電協会評価ガイド普及促進委員会委員、等を務める

株式会社エネテック 東日本支社長 兼 O&M 統括部長 野口貴司



前職で電力関連事業に従事した後、自然エネルギーの普及促進を志してエネテックに入社、同社の関東支店設立に参画。太陽光メンテナンスサービス『ソラパト』を全国に展開、また、自然災害で被災した太陽光発電設備を無償診断するなども実施している。日経XTECHのコラム「メガソーラー・トラブルシューティング」においてトラブル事例紹介の連載

## 太陽光発電設備の実践的保守点検研修の概要

○開催時期：2022年1月中旬の連続する2日

※天候を考慮して予備日を設定（2022年1月11日、12日（予備13日）が候補日）

○講師：産総研職員、外部講師予定

○カリキュラム

- ・1日目：座学：PV基礎、保安について
- ・2日目：実地：現地の保守点検の実技

○対象者

- ・福島県内に事業所を有する企業に所属していること。
- ・電気工事士もしくは電気主任技術者の資格を有していること。
- ・PV保守点検の経験があることが望ましい。
- ・すべてのカリキュラムに参加可能であること。※2年目以降も含めて参加可能なことが望ましい。
- ・今後PV保守点検事業を継続する意欲があること。

○募集人数

- ・最大10名（各企業1名）

○参加費：無料

○参加者募集期間：11月8日～12月中旬予定

○必要なもの（実技研修）：電気作業用ヘルメット、低圧用（DC750V/AC600V）の絶縁保護手袋・長靴など

注意：現状の案のため、今後内容に変更することがあります。



産総研の設備 概要

## 太陽光発電設備のメンテナンス装置のデモンストレーション概要

- 開催時期：2021年11月下旬～2022年2月初旬（各デモンストレーションは個別の日に実施）
- 講師：産総研職員、外部講師予定
- 実施内容（案）
  - ・屋外 EL
  - ・赤外線ドローン
  - ・EL ドローン
  - ・PV 診断トラック
  - ・構造杭引き抜き試験
- 対象者
  - ・福島県内に事業所を有する企業に所属していること。
  - ・今後 PV 保守点検事業を継続する意欲があること。
- 募集人数
  - ・最大 15 名（各企業 1 名）/それぞれの実施内容
- 参加費：無料
- 参加者募集期間：11 月下旬以降、順次募集

注意：現状の案のため、今後内容に変更することがあります。